

会議録名	第1回佐久市男女共同参画審議会
日 時	令和元年6月4日（火） 午後1時30分から
場 所	佐久市役所 7階701会議室
出席者	<p>【委員】 中村直子会長、佐々木知子副会長、五十嵐芳孝、井出由美子、奥村繁子、小林恵理子、小林尚美、駒村泰義、中島茂夫、両澤正子（欠席5名）</p> <p>【事務局】 市民健康部長 畠山啓二、人権同和課長 戸塚幸一、人権教育男女共生係長 平川恵奈、人権教育男女共生係 油井陽介、依田 香</p>
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 委員名簿 ・ 資料1 平成30年度 男女共同参画推進に関する施策の事業報告 ・ 資料2 平成30年度 第3次男女共同参画プラン関連事業実績報告 ・ 資料3 令和元年度（2019年度）男女共同参画推進に関する施策の事業計画 ・ 資料4 令和元年度（2019年度）第3次男女共同参画プラン関連事業計画 ・ 資料5 佐久市男女共生ネットワークだより ・ 資料6 佐久市審議会委員・職員の女性の登用数 ・ 資料7 実現しよう 男女共同参画社会 ・ 県パンフレット「すべての人が輝くために」 ・ 佐久市男女共同参画研修参加報告のまとめ ・ 佐久市女性リーダー養成研修の記録
内 容	<p style="text-align: right;">進行：人権同和課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱書の交付 3 会長あいさつ 4 市民健康部長あいさつ 5 自己紹介 6 会議事項 議長：中村会長 <p>（1）平成30年度（2018年度） 男女共同参画推進に関する施策の事業報告について ○質疑、意見</p> <p>委員：昨年度11月23日に佐久平交流センターで行った講演会の出席人数について男女比が男性6に対して女性4でありました。普段の講演会の参加人数は女性が多く男性が少ないが、講演内容の結果なののでしょうか、素晴らしいと思いました。</p> <p>事務局：今回の講演会はハラスメントがテーマで、講師が産業カウンセラーということもあり、企業の方へファックスを流し、参加を呼び掛けました。</p>

委員：子育てを理由に離職した女性の再就職への支援について、辞めて再就職された女性の数字が平成30年で36名とありますが過去と比較してどうでしょうか。

事務局：第3次男女共同参画プラン期間内の達成目標の中の、「再就職支援により、子育て期に再就職した女性数」ですが、平成28年度は55人、平成29年度は60人、平成30年度は36人と減少している状況です。

委員：離職した女性の数が少なくなって、この数字になっていればいいのですが。

委員：第3児保育料無料化の影響もあるのでしょうか。皆さん仕事を辞めずに待機児童がすごい勢いで増えています。男女共同参画、で女性は参画しているが、子どもがそこから離れてしまい、将来どうなっていくのか疑問が残ります。

事務局：男性が参画するということだと思います。同じように女性が働き始めたから子どもがどうだという心配をしなくてすむような共存の関係ができていくことが理想。理想だが意識が付いて行かないことが実状としてあるので、働くお母さんが増えることで子どもの問題がクローズアップされるということはありません。

委員：待機児童の問題に関しては申請の時点で各保育園に問い合わせをし、第6希望まで書くようになっていきます。兄弟で別の保育園に預けるようになれば親の負担が増えますし、空いていて入れたとしても遠くの保育園に送り迎えという訳にいかなくなったりすると申請を出せない状況もあります。女性が働く社会づくりもすごく大事なことだと思いますが、将来的に考えると子どもの心も大事にしていきたいと思います。

委員：プラン目標の中で、「DVなどの身近な暴力は、どんな場合でも人権侵害だと思う市民の割合」の平成33年度目標達成値が100%になっている。意識はかなりあると思うが、その数値はどうかと。気持ちはわかりますが難しいと思います。

委員：同じ調査項目で、29年度が91%、28年度が87%、30年度が74%とかなり下がってきているのは残念な気がします。

委員：市民フォーラムのアンケート結果ですね。今、高校にもお願いはしているのですが、今の高校での性教育はDVの世界というような内容でDV関係が多い。中学校もほとんど人権を絡めたHIV関係の性教育が多く増えている。中学・高校で行っている性教育について、どこかで一般市民に公開できると良いと思う。一般市民の意識が遅れている。私たちが思っている性教育とは全く違うので見ていく必要があると思います。

委員：女性が社会に出て働いていることに関して、封建的なところもあり、女性が家のこともしないでというような考えがいまだに多々ある。高齢者になってくると男女共同参画の意識もだいぶ低い気がするので、小学校、保育園の小さい時からだんだんに教えて行くことが必要だと感じています。

(2) 令和元年度(2019年度) 男女共同参画推進に関する施策の事業計画について

○質疑、意見

委員：女性リーダー養成研修生がパートナーシップ佐久の事業へ実習生として入ってきている。研修が終わらない間にパートナーシップ佐久の事業へ参加することは今まで無かったので、いつから始まったのでしょうか。

事務局：昨年度から始めています。お料理教室に参加したり、チャリティーコンサートの企画から加わったりしました。

委員：目新しいですね。研修が終わってパートナーシップ佐久へ入るかどうかは任意で決めることになるので、とても良いと思います。

委員：男女共同参画週間のチラシがありますが、多くの人に知ってもらう方法について、佐久市はこんなことをやっていますなど教えていただけるとありがたいです。多くの人に知ってもらわないと裾野は広がっていかない。

事務局：広報6月号に男女共同参画週間について載せてあります。実現しよう男女共同参画社会のチラシ(人権同和課作成)は各種研修会の時に配布して、男女共同参画社会づくりの意識についてPR、啓発活動を行っています。

会長：広報の文字だけだとスルーして見過ごしてしまう方が多いのではないかなと思います。もっと一般の方に目立つ感じで知っていただく方法があればいいのかなと思います。ただ男女共同参画という言葉自体は結構耳にするようになったと思います。

委員：事業者表彰で東小学校男手の会、ともに生きる佐久とかが表彰されていましたが、表彰した基準、表彰された意味を具体的に教えていただければ。

事務局：まず、事業者の募集をします。各事業者の取り組み内容について受賞に値するかどうか2回目の審議会の中で審議をして決定します。

(3) その他

○質疑、意見

委員：私が疑問に思っていることですが、児童館って8時ピッタリでないと開けない。働く女性達にとってみれば多少でも早く預けて仕事に行きたいとなると、8時前には置いていく。そうすると子どもは、10分でも20分でも雨でもなんでも門の外で待っている。子どもに対して優しさが無い。土日でも働いている方は8時前に預けられないので児童館に預けずに自分の家に置いておく。そうすると子どもはゲームを始める。悪循環。少ない方の意見も取り入れていかないと。これから働く方が女性でも多くなっていくし、そのような家庭が増えていくから考えていただきたい。

委員：かなり遅くまでほったらかしにされているお子さんが居たり、いつまでもお迎えに来ないご家庭もある。児童館はかなり救急状態なので、絞めるところは絞めないと、と思います。

委員：児童館で働いているお母さん達がいることも理解していただきたい。この方が8時にならないと来られない、こういう辛さもある。世の中では女性がいっぱい働いている。定時という時間をお互いにすごく大事にしましょうという世の中になっていくことを考えた時に、働く人達がお互いに上手く働けるような社会を作っていないとむずかしいと思っている。色々問題はあらずで難しいと思いますが、世の中に色々な人が働いていることを理解してもらいたい。

委員：昨年の市民フォーラムでオリンピック選手を4人育てたという菊池さんの講演がありました。私は、どんな子育てをしてあのような素晴らしい選手が生まれたのか、それを一番聞きたくて行ったが残念ながら講演の内容はお母さん自身の生きざま、お父さんとの確執で、お子さんの子育てについてひと言も触れなかった。講演を依頼した時、菊池さんの人生についてのお話を話してもらおうようお願いしたのかわかりませんが、私が講師をお願いする時は、こんな話が聞きたいのでこのような事を中心に話してほしいと講師の方に依頼して話してもらうようにしています。

事務局：確かに内容はご主人と自分の歴史が多かったです。女性としてのご主人との立場というところであの方の強さ、考え方を聞いたという部分では身になった思いがあります。講演の話す内容についてはある程度依頼していく予定です。

委員：男女共同参画の講演会だからその内容でも良かったのではないのでしょうか。

7 その他 今後の予定についてお知らせ

8 閉会